



2023年3月期決算 ～今後の経営展望について～

2023年5月12日
株式会社ヤクルト本社
代表取締役社長
成田 裕

Yakult

損益実績について



(単位:億円)

	2023年3月期 実績 (うち、為替影響額 ※)	前年比	予想対比 (11月11日発表)
売上高	4,830 (+297)	116.4%	100.4%
営業利益	660 (+53)	124.2%	103.2%
経常利益	779 (+63)	113.7%	98.7%
親会社株主に帰属する 当期純利益	506 (+43)	112.7%	101.3%

※: 為替影響額は対前年度実績

通期予想について



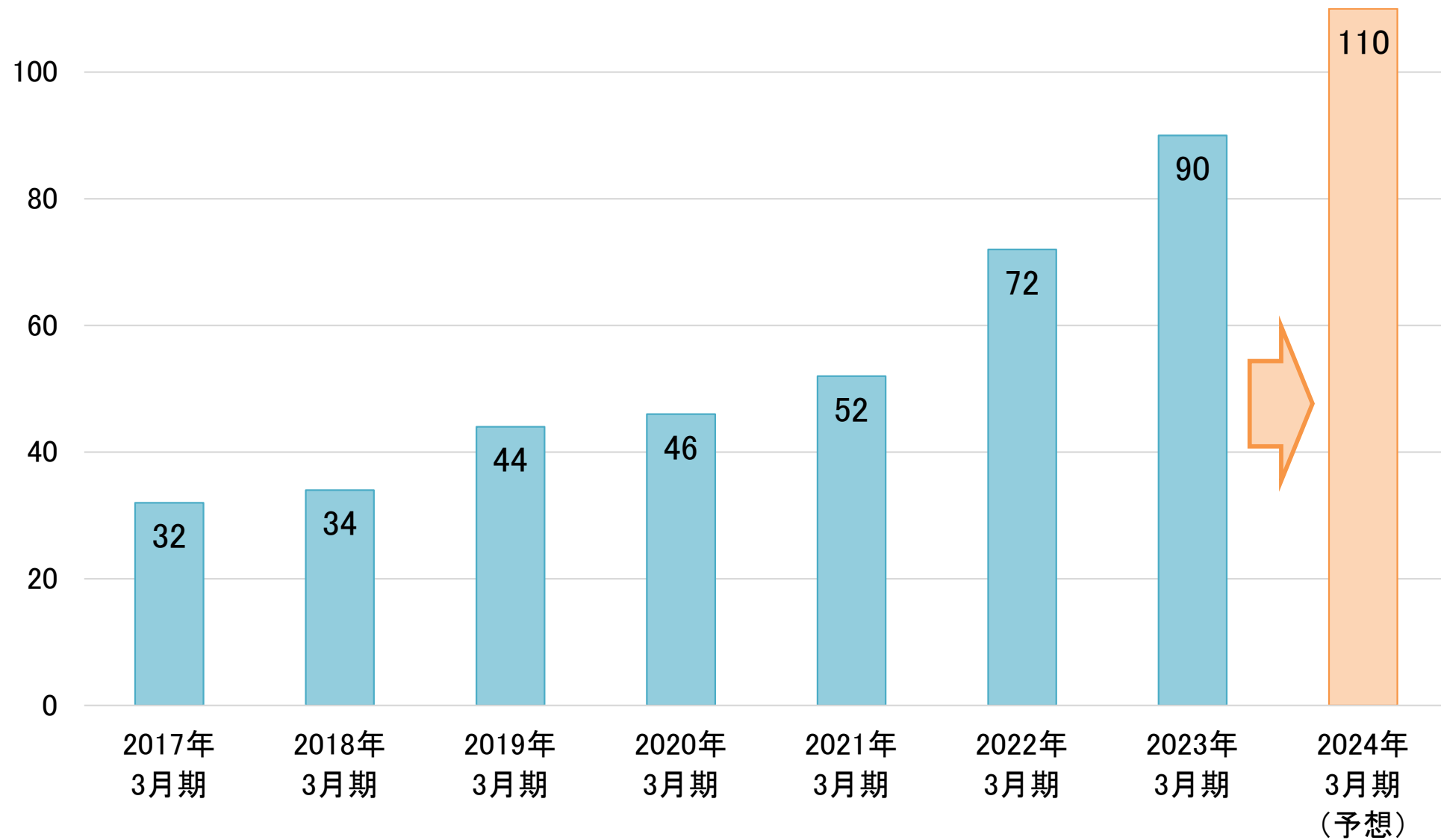
(単位:億円)

	2024年3月期 通期予想	前年比
売上高	5,310	109.9%
営業利益	755	114.3%
経常利益	910	116.7%
親会社株主に帰属する 当期純利益	585	115.5%
1株当たり当期純利益	374.83円	115.6%

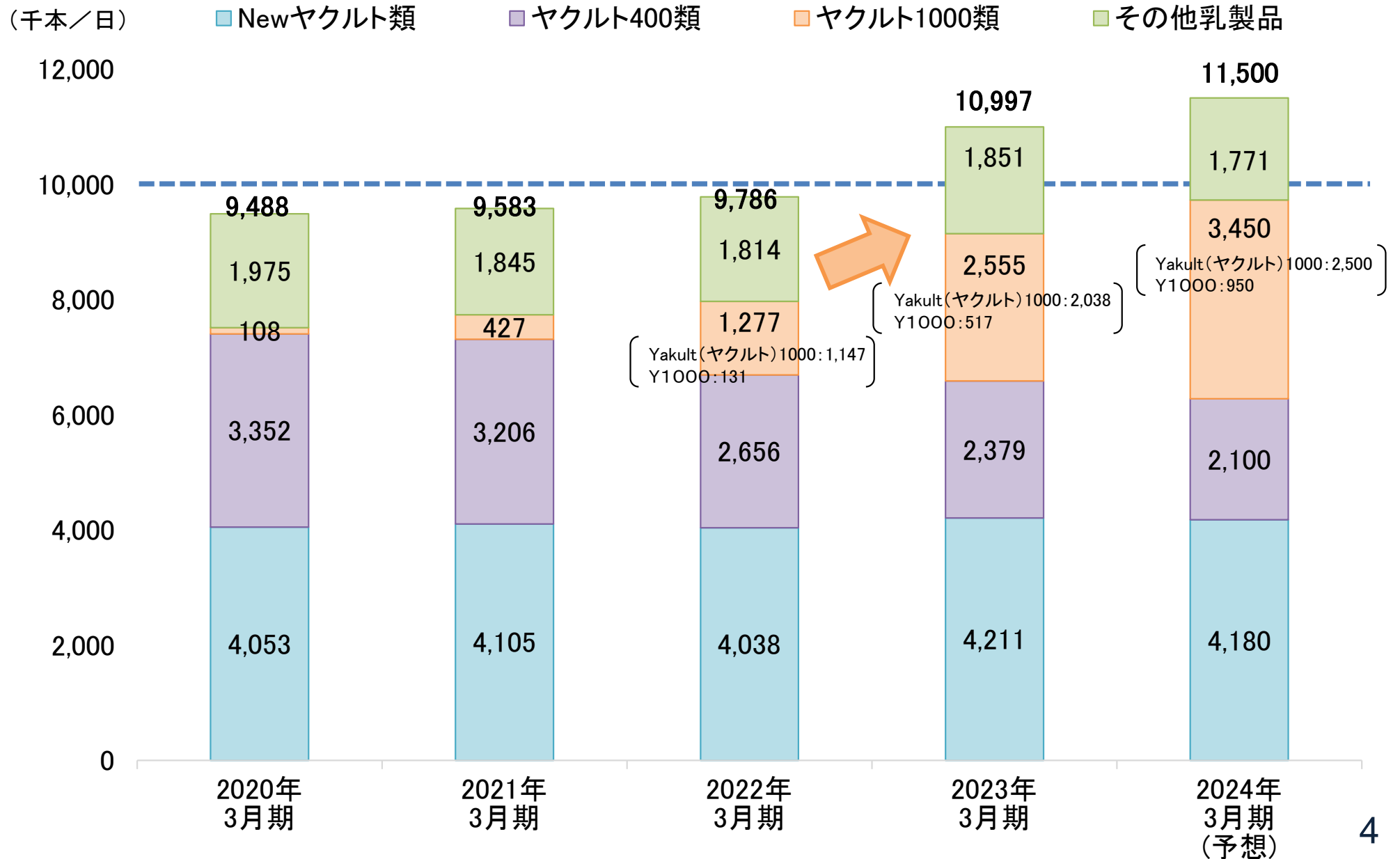
配当金の推移



(円)



乳製品全体の1日平均販売本数の推移

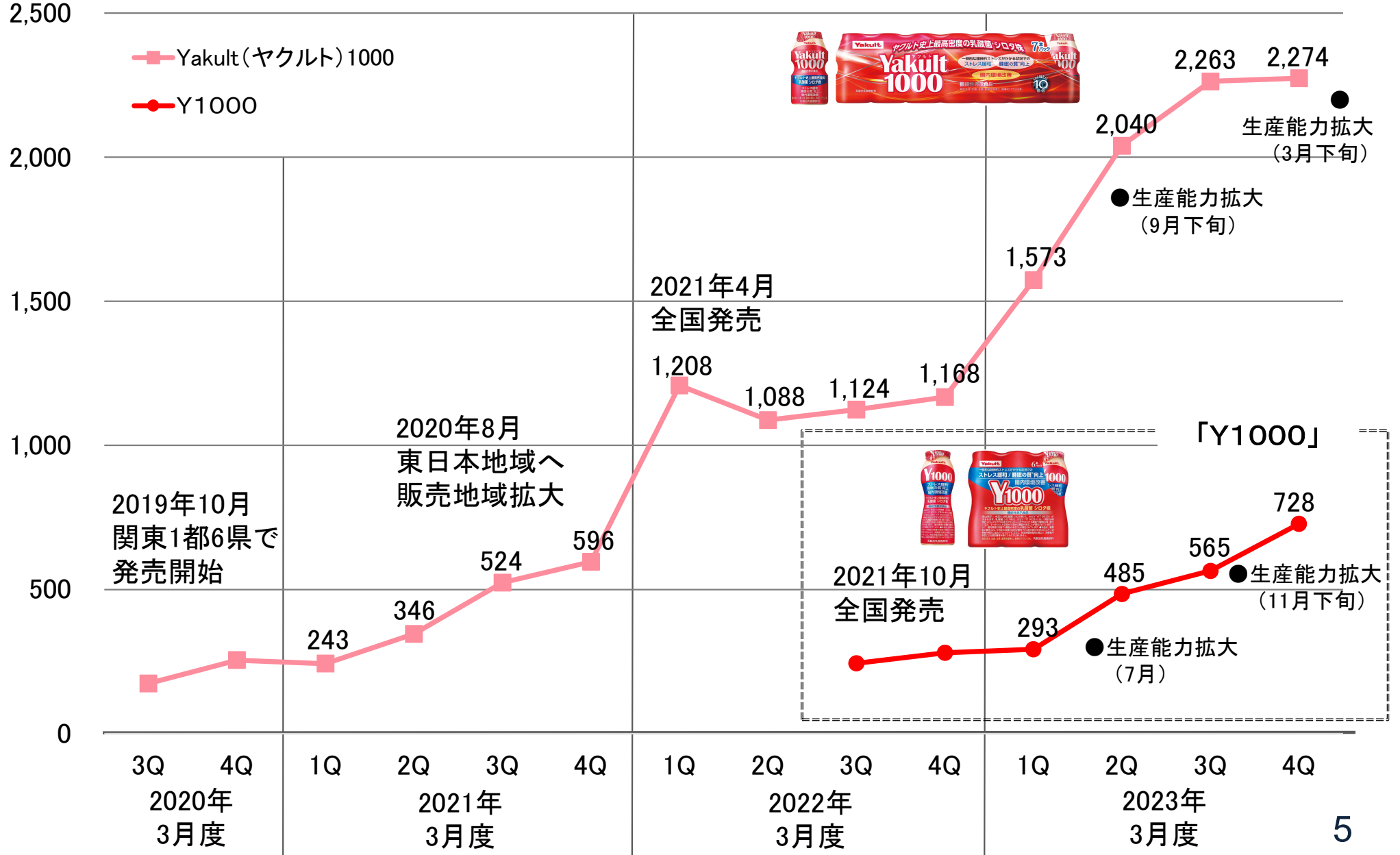


国内飲料食品事業



(千本/日)
2,500

「Yakult(ヤクルト)1000」、「Y1000」の四半期ごとの販売本数の推移



宅配チャネル

Yakult(ヤクルト)1000



販売本数目標
(1日あたり本数)

2, 500千本/日
(2023年4月~2024年3月)

- 3月下旬に生産能力を拡大
- ヤクルトレディ組織の誕生60周年
離職数は減少傾向
今後は、働き手目線の募集条件や働き方を提示し、採用の間口を拡大

店頭チャネル

Y(ワイ)1000



販売本数目標
(1日あたり本数)

950千本/日
(2023年4月~2024年3月)

- 4月に生産能力を拡大
- 「Y1000」の導入をきっかけとして、売り場が活性化
- トライアルだけではなく、リピート購入を増やす取り組みを継続

海外飲料食品事業



各事業所販売実績(速報値) (2023年1月 ~ 2023年3月) (図7)

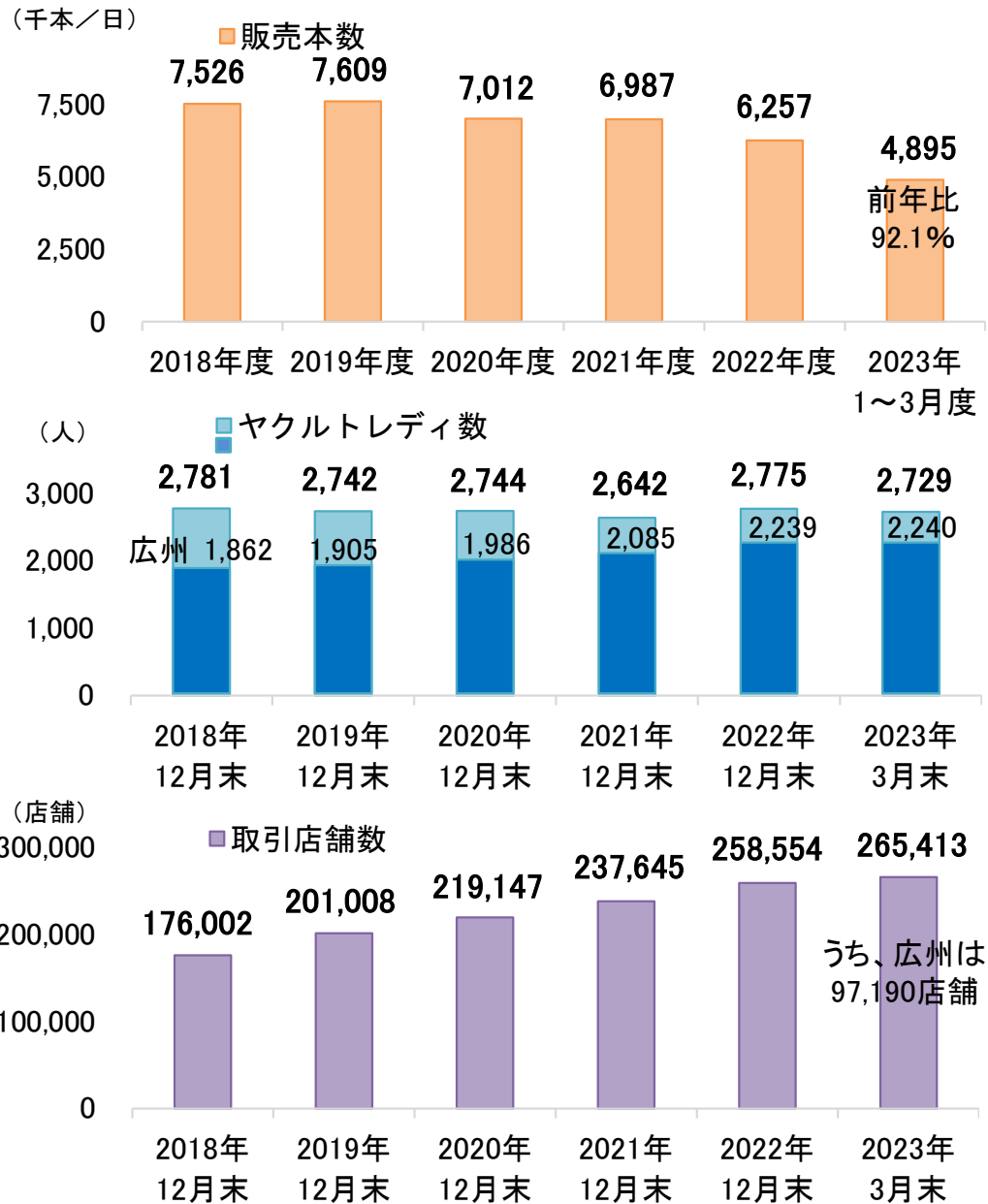
事業所名	販売対象人口※ (千人)	販売実績 (千本/日)	前年比 (%)	人口比 (%)	事業所名	販売対象人口※ (千人)	販売実績 (千本/日)	前年比 (%)	人口比 (%)
香港ヤクルト	7,970	308	110.1	3.86	オランダヤクルト販売	17,800	169	89.5	0.95
シンガポールヤクルト	5,640	224	90.3	3.98	ベルギーヤクルト販売	12,384	55	87.7	0.45
インドネシアヤクルト	251,221	6,300	88.4	2.51	ヨーロッパヤクルト	28,530	25	86.8	0.09
オーストラリアヤクルト	25,000	343	107.8	1.37	イギリスヤクルト販売	72,149	236	93.5	0.33
広州ヤクルト	106,890	1,862	90.1	1.74	ドイツヤクルト販売	82,430	88	93.3	0.11
マレーシアヤクルト	27,000	361	105.0	1.34	オーストリアヤクルト販売	9,000	10	78.4	0.11
上海ヤクルト	24,870	268	79.3	1.08	イタリアヤクルト販売	59,502	94	99.2	0.16
北京ヤクルト販売	35,300	252	84.2	0.71	ヨーロッパ計	281,795	677	92.2	0.24
中国ヤクルト	679,102	2,513	96.3	0.37	連結合計	2,194,598	20,296	95.9	0.92
ベトナムヤクルト	41,000	930	115.2	2.27	台湾ヤクルト	22,798	529	97.5	2.32
インドヤクルト・ダノン	136,000	227	108.2	0.17	タイヤクルト	66,170	2,247	101.2	3.40
中東ヤクルト販売	24,600	18	96.7	0.07	韓国ヤクルト	51,800	2,095	90.3	4.04
ミャンマーヤクルト	5,160	-	-	-	フィリピンヤクルト	98,590	3,910	109.4	3.97
アジア・オセアニア連結計	1,369,753	13,605	92.8	0.99	持分法合計	239,358	8,781	101.4	3.67
ブラジルヤクルト商工	103,640	1,418	96.8	1.37	合計	2,433,956	29,077	97.5	1.19
メキシコヤクルト	99,061	3,915	106.1	3.95	※それぞれの国・地域における商品購入可能エリアの人口合計				
アメリカヤクルト	340,349	681	110.5	0.20					
米州計	543,050	6,014	104.2	1.11					

海外飲料食品事業

(広州ヤクルト、上海ヤクルト、北京ヤクルト販売、中国ヤクルト)



業績推移



<直近の状況>

- 2022年度は厳格なゼロコロナ政策により、大きな影響を受けた
- 2023年度に入り、経済活動が順次再開されているが、リオープンング効果はこれからの見込み

<今後の取り組み>

● 短期的な活動



対面でのアプローチを進めるとともに、KOCやライブコマースの活用など、SNSを使った情報提供機会をさらに拡大

● 中長期的な活動

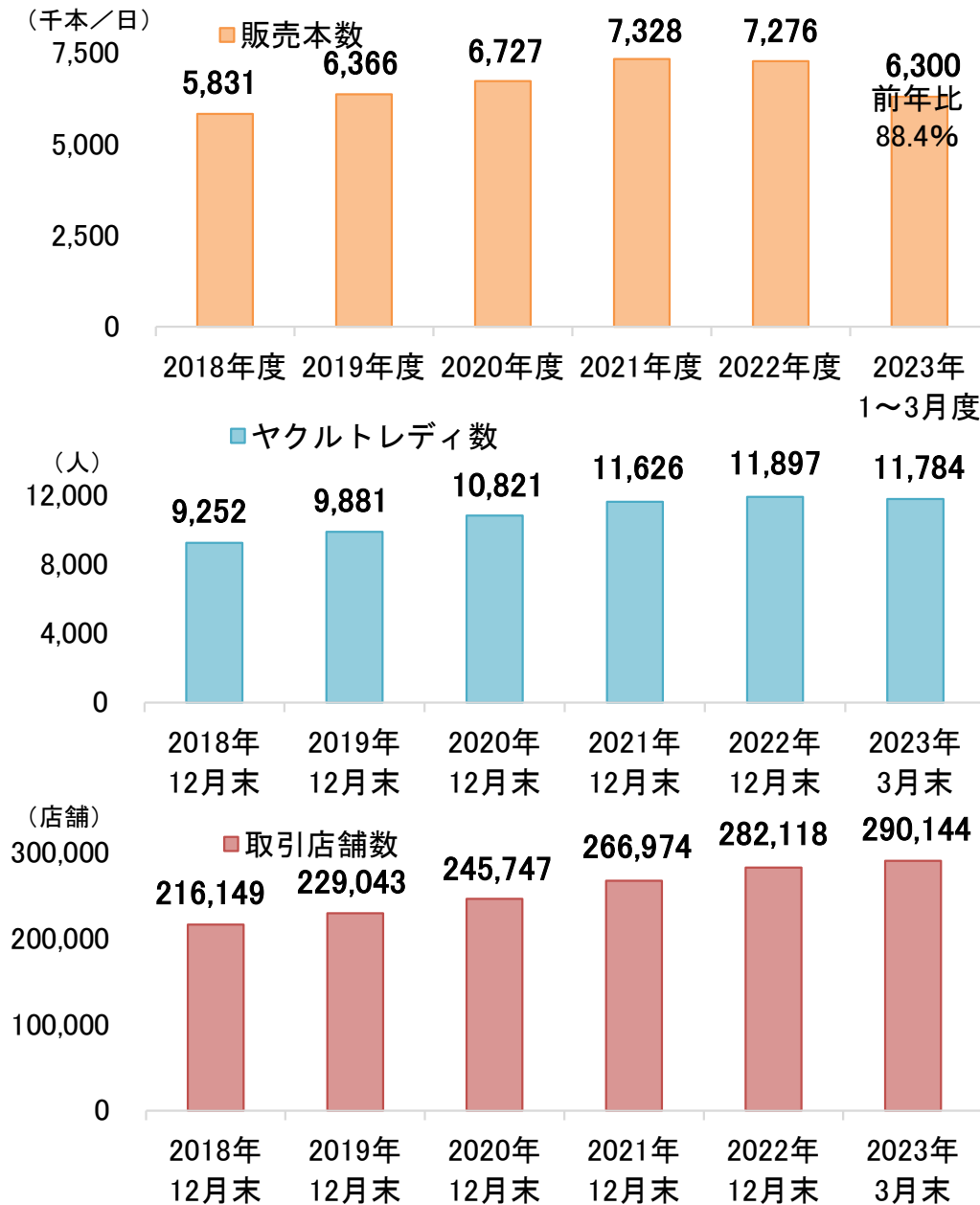


ヤクルトレディ組織拡大、既存市場深耕など宅配に注力
先行地域の好事例を他の地域へ水平展開

海外飲料食品事業(インドネシアヤクルト)



業績推移



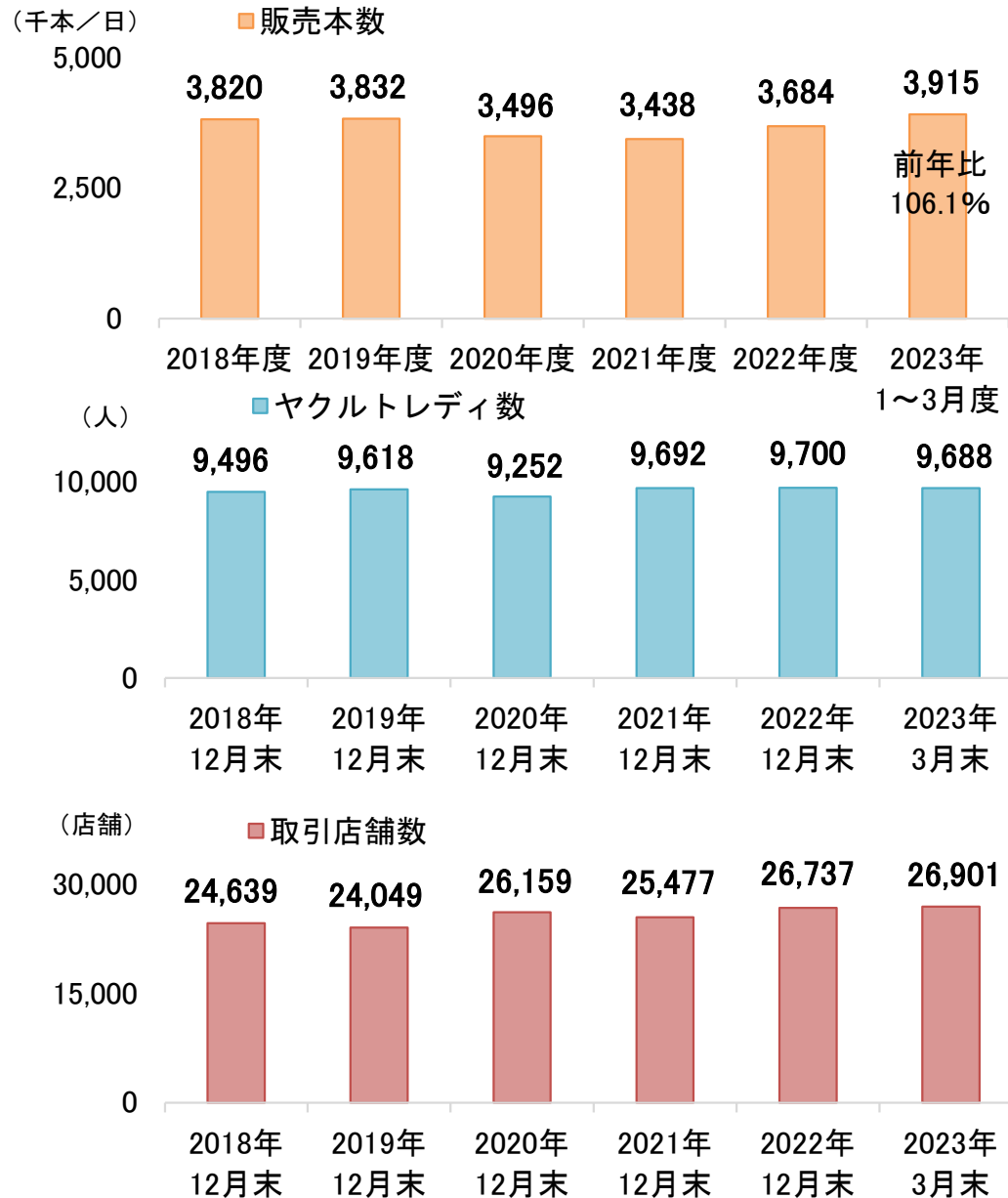
- 2022年度 第2四半期から販売本数が前年を下回っている
- インフレによる消費の鈍化とコロナ禍での対面教育不足による販売力低下が要因
- 昨年末からヤクルトレディ、営業社員への対面教育を再開
- ヤクルトレディ数、取引店舗数は増加傾向にあるので、継続的な販路拡大を進める



海外飲料食品事業(メキシコヤクルト)



業績推移



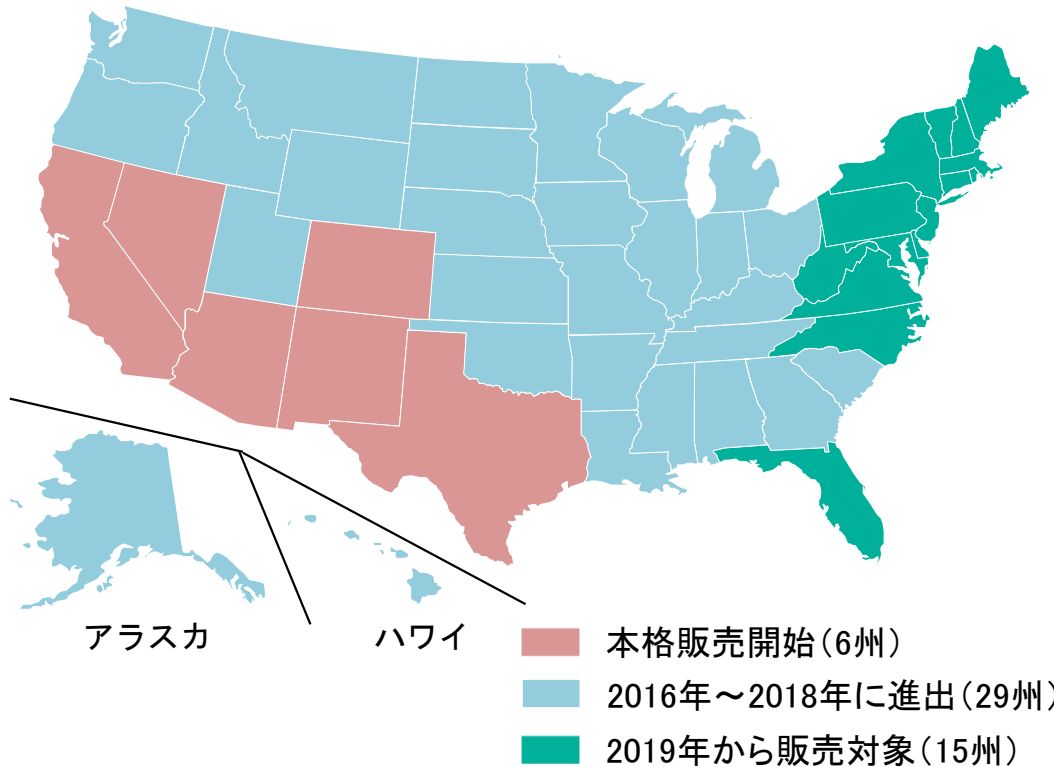
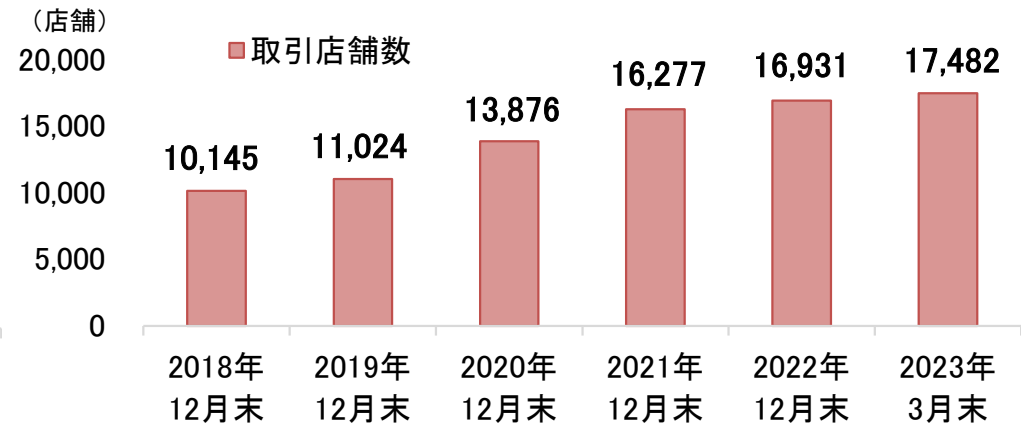
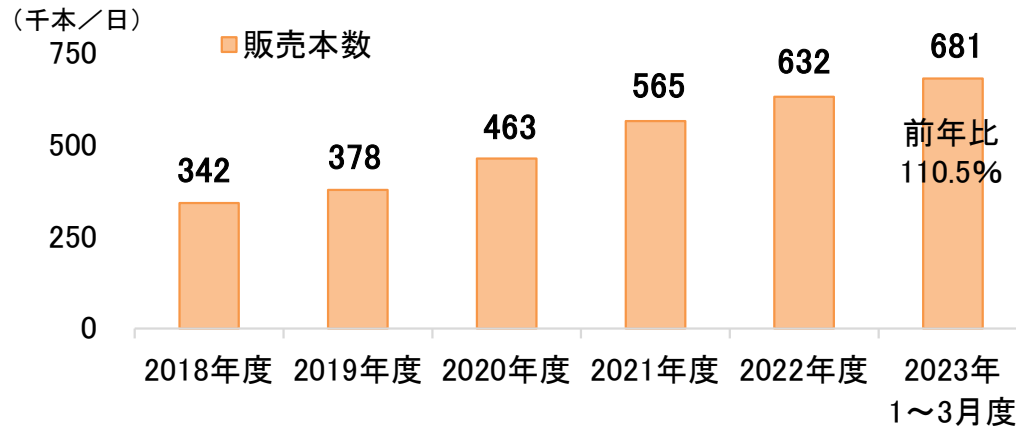
- 6四半期連続で販売本数が前年を上回る
- ヤクルトレディ数はコロナ禍前の水準に戻り、取引店舗数も着実に増加
- コロナ禍前のような成長路線を作り上げ、販売本数を積み重ねる



海外飲料食品事業(アメリカヤクルト)



業績推移



深耕と拡大が両輪で展開
今後も継続した伸長が期待できる事業所



- 2023年4月の薬価改定により、医薬品事業全体で約10%の価格引き下げ
- 製造販売業者としての安定供給の堅持



事業環境が今まで以上に厳しい状況を踏まえ、対応を検討



健康経営の推進

- 健康産業のパイオニアとして、ヤクルトグループは、創業当時から大切にしてきた「人」のチカラと「和」の精神を一番の原動力と考え、従業員やヤクルトレディをはじめとする「人」が、健康でいきいきと働きつづけることができる職場環境を目指しています。
- 企業理念の実現を目的に、健康保持・増進のため、当社内に実務推進担当部署を設置し「健康経営」を推進しています。
- さまざまな健康課題への取り組みの結果、当社は6年連続で「健康経営優良法人（ホワイト500）」に認定されています。



2023
健康経営優良法人
Health and productivity
ホワイト500

当資料に掲載されている過去の事実を除く、計画、予想などは、不確定な要因を含んでいます。実際の業績は、さまざまな要因により、これら見通しとは異なる結果となる場合があることをご承知おきください。

当資料のいかなる情報も投資勧誘を目的としたものではありません。また、弊社は当資料の内容に関し、いかなる保証をするものでもありません。万一、この資料に基づいて被ったいかなる損害についても、弊社および情報提供者は一切責任を負いません。